

生徒一人一人の人間力の育成と 高い進路目標を達成する学校



茨城県立土浦第一高等学校

自分の「好き」を「志」へ

本校は、令和9年度に創立130周年を迎える歴史ある進学校です。私たちが何より大切にしているのは、日々の「授業」。“予習・60分の全力授業・復習”を生活のリズムにすることで、単なる暗記ではない、社会に出てからもずっと役に立つ「本物の学力」が身に付きます。最大の特色は、勉強と行事や部活動を全力で両立させる〈土一（つちいち）スタイル〉です。この熱い学校生活を通じて仲間と高め合い、自分の「好き」を社会に役立つ「志」へと高め、挑戦し続ける〈土一総合力〉を身に付けていきます。

さらに、社会の先輩（OB・OG）と出会うキャリア教育や海外研修を通して、「自分・地域・世界」を深く見つめる独自の探究学習も充実。多様な人々と協力して社会を支え、未来を動かす「グローバルリーダー」へと、あなたを大きく成長させます。

「自ら学び、自ら未来を切り拓け！」

この言葉を胸に、皆さんが大好きな夢に向かって全力で走れるよう、私たちは一丸となって応援します。

校長 谷津 勉



校 訓

責 協 自
任 同 主

Responsibility, Cooperation, Independence

《教育方針》

- 1 「高い知性」と「豊かな人間性」を兼ね備えた『社会の役に立つ人材』の育成に努めます。
 - 授業第一主義を实践して、「高い知性」の修得に努めます。
 - 部活動、学校行事などを通して、「豊かな人間性」の涵養に努めます。
- 2 高い「志」の実現のため、東大研、医学コースなどを通してキャリア教育の充実に努めます。
- 3 社会の発展に貢献できる、『国際的に活躍するグローバル人材』の育成に努めます。
- 4 何事にも主体的、能動的にチャレンジする姿勢「土一スタイル」を育んでいきます。
- 5 学習、進路、心などに関する教育相談や個別指導を丁寧に行います。



土一スタイル

- 1 高い目標を持ち、その目標に向かって努力できる
- 2 主体的な学習を着実に継続できる
- 3 規律と責任を重んじ、自ら実践することができる
- 4 勉学と学校行事、部活動に全力で取り組むことができる

《沿革/創立129年》

1897 (明治30年)	4月 7日	茨城県尋常中学校土浦分校として開校
同 年	4月22日	新治郡役所楼上にて授業開始(創立記念日)
1900 (明治33年)	4月 1日	茨城県立土浦中学校と改称
1905 (明治38年)	3月 5日	真鍋町新校舎完成
1948 (昭和23年)	4月 1日	茨城県立土浦第一高等学校と改称
1997 (平成 9年)	11月 1日	創立 100 周年記念式典
2003 (平成15年)	1月16日	体育館竣工
2010 (平成22年)	3月19日	Science Explorers Group(SEG) 米国研修を開始
2014 (平成26年)	4月 1日	Super Global High School(SGH) 文部科学省指定
2017 (平成29年)	11月18日	創立 120 周年記念式典
2021 (令和 3年)	4月 1日	茨城県立土浦第一高等学校附属中学校開校

授業第一主義



1分1秒を大切にする 60分授業



特色ある学習システム

- 難関国公立大学や医学部への進学に対応した質の高い授業
- 対話型の授業を駆使して、課題解決能力、コミュニケーション能力を育成
- 2年次までは文理融合型カリキュラムを採用
- 3年進級時に人文社会系・理工系を選択し、多様な進路に対応
- きめ細かな個別指導による学習サポートや進路カウンセリング
- 高い進路目標を実現するための指導体制
(特別講座・入試問題研究会・医学研・進路講演会など▶P.5)

日課表[通常60分]

1時間目	8:25～ 9:25
2時間目	9:35～10:35
3時間目	10:45～11:45
4時間目	11:55～12:55
昼休み (50分)	
5時間目	13:45～14:45
6時間目	14:55～15:55



3年間で学ぶ教科と科目

幅広く学び、教養を身につけるカリキュラム

学年	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	情報	家庭	総合
1年	現代の国語 言語文化	地理総合 歴史総合	公共	数学Ⅰ 数学A	物理基礎 生物基礎	体育 保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ	英語CⅠ	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ	総合探究
2年 ※①	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究	世界史探究	数学Ⅱ 数学B	物理 生物	化学基礎 体育 保健	英語CⅡ	論理・表現Ⅱ	家庭基礎	サイエンス探究
3年 人文社会系モデルコース	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究 政治経済	左より2科目 地理特講 日本史特講 世界史特講 政経特講	数学C	物理研究 化学研究 生物研究	左より2科目 体育	英語CⅢ	論理・表現Ⅲ	選択※②	桜水探究
3年 理工系モデルコース	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究	数学Ⅲ 数学C	物理 生物	化学	体育	英語CⅢ	論理・表現Ⅲ	桜水探究	

※① 2年医学コース選択者は「医学概説」を受講

3年次人文社会系選択 ※② 数学特講、ソルフェージュ特講、素描演習、英語探究、英語講読から1科目選択



高い進学実績

毎年、多くの卒業生が難関大学に挑戦し、合格しています。

【5か年合計合格者数】

東京大学 68名 ・ 医学部医学科 147名
難関国公立大学 448名
(東大・旧帝大・一橋・東京科学・筑波)

国公立大学

入試年度	2026年度		2025年度		2024年度	
卒業回	合格者	新卒	合格者	新卒	合格者	新卒
北海道大	7	6	4	2	10	3
東北大	16	14	15	12	30	26
茨城大	18	14	18	13	22	20
筑波大	21	15	39	32	34	25
千葉大	10	7	5	4	4	3
お茶の水女子大	1	1	5	5	5	4
東京大	9	9	14	12	16	9
東京外国語大	2	2	1	1	2	2
東京科学大※	1	1	2	2	8	5
一橋大	6	4	1	1	3	3
横浜国立大	5	5	2	2	3	3
名古屋大			3		3	1
京都大	3	3	5	4	5	3
大阪大	1	1	2	2	4	2
九州大	1	1	1	1	5	4
その他	35	23	25	19	34	19
国立大計	136	106	142	112	189	132
東京都立	4	4	2	1	1	
その他	4	2	4	4	8	5
公立大計	8	6	6	5	9	5
国公立大計	144	112	148	117	198	137
防衛医科大学校	1		1		2	1
その他	2	2	2	2		
大学校計	3	2	3	2	2	1

※2024年度は東京工業大学・東京医科歯科大学の合計

医学部医学科（国公立大計には防衛医科大学校を含む）

入試年度	2026年度		2025年度		2024年度	
大学	合格者	新卒	合格者	新卒	合格者	新卒
国公立大計	16	10	15	12	17	8
私立大計	12	1	13	3	16	3
計	28	11	28	15	33	11

私立大学

入試年度	2026年度		2025年度		2024年度	
大学	合格者	新卒	合格者	新卒	合格者	新卒
青山学院大	15	13	12	11	23	14
慶應義塾大	20	14	13	8	24	10
国際基督教大	1	1				
上智大	17	12	14	11	16	7
中央大	29	20	42	30	44	30
東京理科大	79	33	85	39	117	57
法政大	36	23	32	18	58	38
明治大	67	50	41	23	70	42
立教大	31	17	25	22	36	31
早稲田大	41	29	38	25	57	30
その他	287	137	196	100	311	179
私大合計	623	349	498	287	756	438

卒業生の声

高橋 嘉夫（竹園東中学校出身）

東京大学大学院 理学系研究科地球惑星科学専攻・教授

私が高校生の頃、フロンによるオゾン層破壊が問題になっていて、私は地球のお医者さんになろうと決めました。そうなるには、物質の科学である化学をやるのがよいと思い、東大理科I類の学生の時に理学部化学科への進学を決めました。そんな私を裏切ったのは、真理を探究する理学の面白さでした。それ以降、環境問題への貢献と理学の面白さの両方を追求するという人生を送っていて、それが分子地球化学という分野の創始に繋がりました。人生は一度きりです。本当の幸せは物質的なことではなく、誰かの役に立ち何かに貢献できた時に感じるものと思います。そしてそれを成し遂げるには、沢山の失敗と地道な努力が必要です。でも恐れることはありません。生きてチャレンジし続けている限り後退はしていません。必ず前進しています。そんな中できっと一番幸せなのは、自分の好きなことや得意なことを仕事にできること。色々なことにチャレンジして、息を引き取る時にやり切ったと感じたいと思っています。



横手 樹（かすみがうら市立千代田義務教育学校出身）

東京大学 文科二類

土浦一高の最大の魅力はなんといっても行事も学習も全力で取り組める環境があることです。

私は高校時代に一高祭と歩く会の実行委員会に所属しており、行事運営を自分たちが主体となって行うことに責任感を感じていました。しかし、たくさん活動していく中で友達との仲もぐっと深まり、行事が終わったときの達成感は大きかったです。

また、学習面では廊下にも机と椅子が備えられていて、学習館や図書館もあるなど、どこでも学習できる環境が整っています。特に受験期には、私は東大研に参加し、先生方からの添削を受けられ、質問にも快く対応していただいたおかげで、不自由なく受験勉強に取り組むことができました。

土浦一高で過ごした三年間はとても楽しくて充実した三年間でした。ぜひ土浦一高で充実した学校生活を送ってください！



原田 飛駆人（石岡市立石岡中学校出身）

東京大学 理科二類

高校での友達は一生の宝物です。私は土浦一高で、高い志を持つ最高の仲間たちと出会うことができました。彼らが勉強だけでなく、部活動や委員会活動にも全力で打ち込む姿に感化され、私自身も大きく成長することができました。

私は卓球部の部長を務めました。チームメイトとともに目標に向かって本気で努力し、団体として本当の意味で団結することの難しさも感じながらもたくさんの経験をすることができました。こうした貴重な経験ができたのは、モチベーションの高い仲間たちと切磋琢磨できたからです。

また、日々の学習と部活動の両立は決して楽ではありませんでしたが、授業後や放課後に質問をしても快く対応してくれる先生たちの手厚いサポートに助けられました。受験期には東大研で先生の丁寧な添削指導を受けたり、優秀な友達に教わったりして自分の学力を大きく伸ばすことができました。

この学校では、生徒も先生も全員が本気です。高校での3年間はあっという間ですから、何事にも全力で取り組める環境がある土浦一高で最高の高校生活を送りましょう。



齋 歩（光輝学園つくば市立手代木中学校出身）

東京科学大学 医学部医学科

土浦一高の魅力の一つに充実した学習体制があります。レベルの高い仲間と互いに競い合い、テストに向け課題をこなしながら学習を進めていけば、確実に実力がつきます。私の所属していた医学コースでは、大学の先生の講演や病院見学を通し、医師という職業への解像度を上げ、受験に向け熱心な面接や志望理由書の指導を受けることができました。前期試験後も後期試験の直前まで添削・面接指導をくださった先生方には今も深く感謝しています。

また、一高は部活や行事も全力で取り組める環境です。私はヨット部に所属していましたが、そこでの経験を通じて最高の仲間に出会うことができ、また受験勉強や今の大学生活にも活かせるものを得られたと感じています。

土浦一高での三年間は貴重な経験の連続です。皆さんもぜひ一高で充実した高校生活を送ってください！



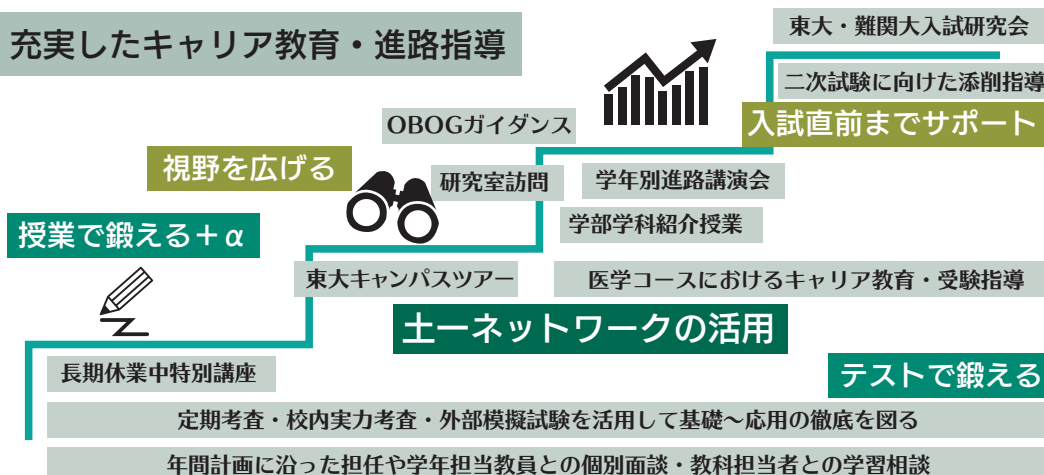
世界の舞台で活躍する人材の育成



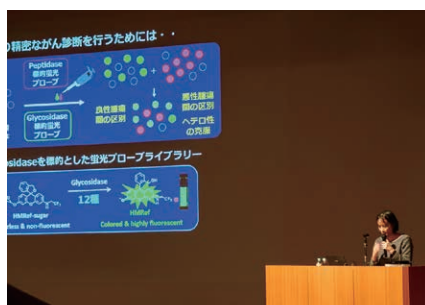
可能性を広げる 進路実現に向けた支援

- 密度の濃い授業・考査はもとより、生徒の希望進路実現に向けて、3年間を見通した充実した支援を実施
- 夏季特別講座・冬季特別講座・東大入試研究会などの特別課外で基礎力の徹底～応用力の向上を図る
- 土ーネットワークを活用したキャリア教育・進路指導
- 平日放課後・休日・長期休業中における自習スペースとして使用できる学習館を完備

充実したキャリア教育・進路指導



学習館・図書館など自習スペースも充実!



3万人超の同窓生ネットワークを活用した進路行事
卒業生は学术界・医療・政財界などで活躍



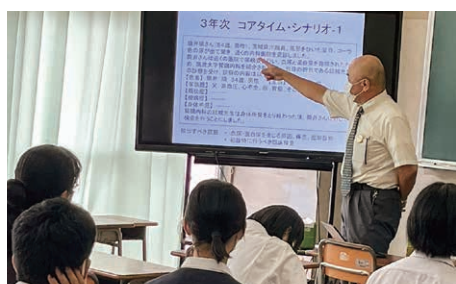
医学コース 医学部進学志望者のために

医師を目指す人の医学部受験の助けとなるための授業や体験活動を実施します。

1年次生：希望者は、病院見学をしたり、現役の医師、大学の先生、医療関係者からの講話を聞いたりします。

2年次生：「医学概説」授業及び、1年次生と同様に体験活動も実施します。

3年次生：より受験に即した学習指導、面接・小論文の指導を行います。



大学の先生の講話



実践的な面接指導



病院見学



【海外研修：海外フィールドワーク】

探究学習をより深化させ、地球規模で取り組む素地を作る目的で、多彩な海外研修を実施しています。

SEG (Science Explorers Group)

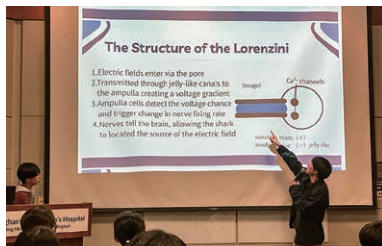
世界最先端の科学を体験することを目的とした海外研修です。アメリカボストンのマサチューセッツ工科大学やハーバード大学の研究室訪問やワシントンDCでの世界銀行・日本大使館訪問を行っています。

HEG (Humanity Explorers Group)

R7年度はオーストラリアへ訪問。現地の高校や大学への訪問や企業見学・ファームステイなどを実施。探究発表会で探究学習の成果を報告し、現地でも報告会を実施しています。



SEGアメリカ



ハーバード大でのプレゼン



HEGオーストラリア

参加生徒の声

「失敗しない挑戦は大した挑戦じゃない」—これはSEGで最も印象に残った言葉です。

私はSEGで、挑戦への向き合い方を知り、世界を肌で感じ、目標を作ることができました。

探究においてテーマを一つに絞り、深める大切さ、アメリカと日本の地理的・文化的な違い、海外の大学院のしくみや海外での働き方、母語が違って英語という一つの言語でコミュニケーションがとれる言語のすばらしさなど、得たものをあげればきりがありません。

SEGでは先生方や旅行会社の方、バスガイドの方が手厚いサポートをしてくださいます。こんなにも研修に集中できる環境で、目標を持った仲間と世界を学べるのは、SEGならではの魅力だと思います。

皆さんもSEGに参加して、新しい自分を見つめませんか。

2年 船橋 歩乃佳 (牛久市立下根中学校出身)



「友達と海外に行きたい!」正直、僕がHEGに参加した理由の8割方はこんな単純なものでした。

実際向こうでの自由時間はかなり多く、旅行的な側面も強くありました。ですが、自由だからこそ積極的に自分達から動くことで様々な人と出会い、broと呼べる友達ができ、なかなかすることのできない体験もできました。1年間のビジネス探究の集大成として企業や大学、領事館でプレゼンをし、企業の社長さんに「君達もう起業家だ。若いからこそ持てる大それた夢と積極性を武器に活動を続けて欲しい!」との言葉を頂いたのが強く印象に残っています。2泊のファームステイ、高校見学や最終日の自由行動、どこを切り取っても楽しすぎた8日間でした。最後にファームマザーから頂いた言葉でこの文章の結びとします。

Don't be shy. When in doubt, go for it.

3年 木村 駿俊 (龍ヶ崎市中根台中学校出身)



全国・世界へ挑戦する一高生

校外のコンテスト・プログラムでも活躍中

科学の甲子園全国大会 総合4位・実技競技③2位入賞

県大会では2年連続優勝。R8年3月つくば市で開催された第15回科学の甲子園全国大会では、総合第4位、実技競技③(事前公開競技)では、全国2位に! 茨城県勢では過去最高位を獲得しました。

数学オリンピック本戦出場(予選にも多数参加)

数学オリンピックをはじめ、物理チャレンジ・化学グランプリ・地理オリンピックなど、多くの生徒がチャレンジしています。過去には、地理オリンピック日本代表として国際大会に出場した先輩も!

ワールド・スカルーズ・カップ2025決勝大会出場(アメリカ)、日本言語学オリンピック金賞 など、部活動以外でも様々な場面で活躍する一高生です。



科学の甲子園全国大会



総合第4位、実技競技③第2位



ワールド・スカルーズ・カップ決勝大会

学校行事

※行事内容は年度によって
変わることがあります。



卒業式

March

3月

- 卒業式
- SEG海外研修
- HEG海外研修
- 終業式
- 学年末休業

4月

- 始業式
- 入学式
- オリエンテーション
- 実力考査 (2・3年)
- 創立記念日 (22日)

入学式

5月

- 定期考査
- PTA総会

野球応援



February

2月

- 定期考査 (1・2年)
- OB・OG進路ガイダンス

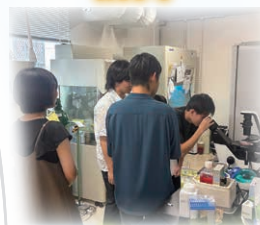
一高祭



6月

- 一高祭
- 進路講演会 (1年)
- 進路講演会 (3年)
- 定期考査 (1～3年)

東大研究室
訪問



1月

- 全校集会
- 実力考査 (1・2年)
- 3年0学期集会 (2年)
- 探究学習発表会 (1年)

January

12月

- OB・OG進路ガイダンス (2年)
- 保護者面談
- 全校集会
- 冬季休業
- 冬季講座 (2年)

December



歩く会

一高
オリンピック

7月

- 進路講演会 (2年)
- 野球応援
- 保護者面談
- 全校集会
- 夏季休業
- 夏期講座 (1・2・3年)

July

8月

- 学校説明会
- 国内フィールドワーク
- 東大キャンパスツアー (1年)
- 東大研究室訪問 (2年)
- 医学コース
大学病院訪問 (2年)
- 夏期講座 (3年)



August

11月

- 進路講演会 (1～3年)
- 校内模試 (3年)
- 科学実験講座
- 定期考査 (1・2年)
- 学部学科紹介授業 (1年)

9月

- 全校集会
- 実力考査 (1・2年)
- 校内模試 (3年)

10月

- 定期考査 (1～3年)
- 歩く会
- 文化講演会
- 修学旅行 (2年)

September

October

キャンパスツアー



修学旅行

OB・OG 進路ガイダンス



進路講演会





三大行事 … 一高祭・一高オリンピック・歩く会

土浦一高では、一高祭・一高オリンピック・歩く会を「三大行事」と呼び、生徒が主体的に運営する実行委員会を中心に1年かけて綿密に計画を立て実施しています。特に一高祭は、9つの部署が共同で企画・運営を担う一大イベントで、生徒が多くの時間と労力をかけて作り上げる本校最大の行事です。令和8年度は、2日間で7,000人を超えるお客様をお迎えし、大盛況となりました。

一高祭



一高 オリンピック



歩く会



豊かな人間性の涵養

部活動

部活動加入者数加入率とも県内有数、県外大会等で活躍

加入者数・加入率とも県内有数の本校の部活動は、運動部・文化部とも生徒の多様な活動の場となっており、県外大会などでも活躍しています。

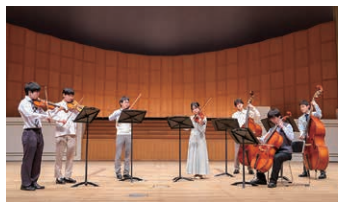
運動部

- 弓道
- 卓球
- ハンドボール
- 剣道
- テニス
- ヨット
- 硬式野球
- バスケットボール
- 陸上競技
- サッカー
- バドミントン
- ダンス※
- 山岳
- バレーボール
- ソフトテニス

文化部

- 囲碁・将棋
- 弦楽
- 物理実験
- 映画
- 写真
- 文芸・弁論・哲学
- 英語
- 吹奏楽
- 生活研究
- 化学実験
- 生物
- 漫画研究
- 合唱
- 地学
- 軽音楽※
- 華道
- 鉄道研究
- 美術

※は同好会



令和7年度 主な成果

ヨット部

- ・第32回関東高校選抜大会: 女子420級 第1位 / 女子ILCA6級 第3位
- ・第77回関東高校ヨット大会: 男子420級 第6位 (全国大会出場)
- ・茨城県高校総体: 女子コンパインド 第1位 / ILCA6級 第1位

陸上競技部

- ・茨城県高校総体: 男子棒高跳び 第1位 / 女子走高跳 第4位
- ・茨城県高校新人大会: 男子やり投げ 第2位 / 女子400mH 第3位
- ・全日本中学校通信陸上県大会: 3年男子100m 第2位

卓球部

- ・茨城県高校総体: 男子学校対抗 第2位
- ・全日本卓球選手権ジュニア県予選: 男子シングルス 第2位
- ・関東高校卓球大会県予選: 男子学校対抗 第3位 (関東大会出場)

囲碁・将棋部

- ・全国総文祭将棋県代表決定戦: 第2位 (全国大会出場)
- ・茨城県高校囲碁秋季大会: 個人 準優勝 (関東大会出場)
- ・令和8年度全国総文祭囲碁県予選: 準優勝

吹奏楽部

- ・第60回茨城県アンサンブルコンテスト: 金賞

合唱部

- ・第80回茨城県合唱コンクール: 銀賞

写真部

- ・県高校総文祭 優秀賞 (全国総文祭・関東地区展 出品)

美術部

- ・愛鳥週間ポスター原画コンクール 特選

物理実験部

- ・県高文連自然科学部研究発表会 優秀賞

今年度も関東・全国大会に出場しています!

- 全国大会出場: ヨット部、卓球部、囲碁・将棋部、写真部、合唱部、美術部
- 関東大会出場: ヨット部、陸上部

委員会活動

「もう一つの部活動」～企画力を育てる～

一高祭・一高オリンピック・歩く会の三大行事の実行委員会をはじめ、学校説明会委員会や放送委員会など、生徒が主体となって行事の運営を担っており、部活動と並んで本校の教育の特色となっています。



一高祭実行委員会



学校説明会委員会



歩く会実行委員会

在校生の声

生徒会長 柴田 紗季 (校並木学園つくば市立並木中学校出身)

土浦一高生徒会は本部役員を中心に三大事務等の各種委員会に分かれており、生徒が主体となって行事を作り上げています。また、部活動にも熱心に取り組み、中には科学の甲子園やスピーチコンテストなどに参加する生徒もあり、勉強を怠ることなく、一高生は忙しい日々を送っています。自分の得意なことを活かし、個性を発揮できるだけでなく、自分とは違う分野で活躍する仲間から刺激を受けることで自分を大きく成長させることができること、それが一高の魅力の一つです。共に尊重し合える仲間や、私たちの挑戦を応援し、サポートしてくださる先生方に恵まれた環境は特別なものだと思います。土浦一高の魅力は、言葉だけでは伝え切れません。ぜひ、土浦一高での学校生活を通してみなさんならではの魅力を見つけて欲しいと思います。



一高祭実行委員長 坪井 綾南 (土浦第一高等学校附属中学校出身)

お化け屋敷に焼きそば、音楽演奏にダンス。文化祭といえば、クラスや部活動での催し物を想像することが多いと思います。それでは、文化祭を運営する立場を考えてみましょう。本校の文化祭「一高祭」は誰が運営しているのでしょうか。もちろん先生方のお力も大きいですが、「一高祭」を「一高祭」として位置付けているのは「生徒主体の運営」にあります。私たち一高祭実行委員会は1年という長い期間をかけて、一高祭の開催に向けて活動しています。うまくいくことよりも、大きな壁に立ち向かうことの方が多く、時には衝突することもあります。それでも生徒主体の活動ができるのは、一高生の粘り強さがあるからです。自主的に、協力して、責任感を持って活動する。簡単なことのように難しいことが実現できる環境が土浦一高にはあります。私は一高祭実行委員長として活動し、このような環境で活動できること、そして、かけがえのない仲間や恩師に出会えたことに感謝しています。皆さんも土浦一高で一高祭を作り上げてみませんか。



2年 小林 凜空 (土浦第一高等学校附属中学校出身)

土浦一高に入学して私が一番成長できたと思うのは、「時間の使い方」です。私は勉強以外にも強く打ち込んでいるものがあり、入学する前は勉強と両立できるかととても不安でした。しかし周りには、テスト直前に部活動の大会があるため早くから計画を立て、通学中や休み時間を無駄にせず勉強に取り組む仲間の姿がありました。そんな仲間たちを見て、私も「時間がない」と嘆くのではなく「どうすれば両立できるか」を考え、隙間時間を最大限に活用して勉強ややりたいことに打ち込むようになりました。最初は大変でしたが、今となってはむしろ両立することを楽しんでいます。尊敬できる仲間からの刺激は、「もっと上を目指したい」という強いモチベーションを与えてくれます。土浦一高で私たちと一緒に充実した学校生活を送ってみませんか。



1年 赤井 佑徠 (つくばみらい市立谷和原中学校出身)

皆さん、土浦一高に入学する生徒はずっと勉強してる、いわゆる「ガリ勉」ばかりだと思ってませんか？
実際は全然違います。僕の友達みんな明るく、ほとんどが部活や委員会に加入しています。私は卓球部に所属していて勉強と同じくらいの時間・熱量で卓球と向き合ってます。しかし、やはり土浦一高での学校生活においてのメインは勉強です。一高の授業は中学とは段違いにレベルが高く、テストの回数も多いため、毎日の学習の積み重ねが一高の勉強についていけるかを決めると身をもって感じています。



このように勉強、部活動等で毎日時間に追われる一高での生活ですが、限られた時間で無駄なく目標に向かって自分のしたいことを頑張ること、文武共に自己の能力が確実に引き上げられていると感じます。土一には毎日が充実する条件が揃っています。ぜひ一緒に土浦一高で濃い高校生活を送りましょう！



出身中学校別生徒数

出身校	学年	1年	2年	3年	計
土浦一高付属中		79	78	78	235
土浦第一中		2	5	3	10
土浦第二中		7	1	5	13
土浦第三中		2	2	3	7
土浦第四中		4	4	3	11
土浦第五中		4	3	1	8
土浦第六中		3	2	2	7
石岡中		2	2	0	4
八郷中		0	3	1	4
城西中		2	4	2	8
取手第一中		0	2	4	6
取手第二中		4	1	3	8
牛久第一中		1	2	4	7
牛久第三中		5	5	4	14
下根中		4	7	6	17
牛久南中		3	3	3	9
ひたち野うしく中		12	5	9	26
竹園東中		11	16	19	46
並木中		5	6	8	19
吾妻中		5	3	3	11
谷田部中		1	2	3	6
高山中		3	1	2	6
手代木中		6	11	5	22
谷田部東中		4	8	6	18
豊里中		1	1	3	5
大穂中		0	2	2	4
高崎中		0	2	3	5
学園の森義務教育		10	6	5	21
みどりの学園義務教育		2	1	2	5
春日学園義務教育		6	10	7	23
守谷中		3	0	2	5
守谷愛宕中		1	2	2	5
けやき台中		1	2	1	4
霞ヶ浦中		3	4	4	11
下稲吉中		5	2	6	13
伊奈中		2	2	2	6
谷和原中		2	3	0	5
美浦中		3	1	1	5
朝日中		4	2	4	10
竹来中		4	1	1	6
美野里中		1	1	2	4
玉里学園義務		1	3	0	4
計3名の中学		中根台、阿見、玉造、御所ヶ丘、小川南			
計2名の中学		府中、国府、藤代、桜、秀峰筑波義務教育、千代田・千代田義務、下妻市東部、友部第二、我孫子市我孫子、タイパンコク日本人			
計1名の中学		都和、新治学園義務、城ノ内、藤代南、稲敷桜川、水海道西、小絹、明野五葉、八千代町東、千波、緑岡、岩間、太田、神栖第二、真壁学園義務、茨大附属、我孫子市白山、柏市大津ヶ丘、江戸川学園取手			
計		240	239	237	716

新教室での授業が
スタートしています!

檜が香る心地よい教室!



施設案内図



茨城県立土浦第一高等学校

〒300-0051 茨城県土浦市真鍋四丁目4番2号
TEL 029(822)0137(代) FAX 029(826)3521
ホームページ <https://www.tsuchiura1-h.ibk.ed.jp>
email koho@tsuchiura1-h.ibk.ed.jp



土浦一高ホームページ



土浦一高 Instagram

■ 土浦駅から約2.3km

- 自転車で約 15 分
- バスで 10 分
土浦駅西口 4・5 番バス乗場より路線バスにて
〔土浦一高前〕下車

■ つくば駅から約10km

- バスで 28 分 (直行便)
つくば駅・土浦一高間の直行バスが
朝 3 便、夕 1 便運行中
- つくば駅・土浦駅間、土浦駅・土浦一高前間
のバスは多数運行

■ 研究学園駅から約13km

- バスで 40 分
研究学園駅から土浦一高への直行バスが
朝 2 便、夕 2 便運行中



※表紙のデザインは本校旧本館の装飾「アカンサス」をモチーフとしています。

※表紙の校章ロゴは3年田口心奏さんのデザインです。